

届かぬ時短協力金

大阪

緊急事態宣言に伴う時短営業申請に
じた飲食店への協力金の支給が、大阪府
で大幅に遅れており、業者は悲鳴をあげ
ています。
(島田勇登)

時短営業に応じた店には
1日6万円の協力金が支
給されます。大阪府の対象
は約10万8000店舗。23
日時点で約9万1000
件の申請がありました。支
給されたのは約7200
件(約8%)にとどまっ
ています。府は申請書類に不
備が多いことを理由に挙
げていますが、店側からは
批判の声が強まっていま
す。

「遅い」「煩雑」飲食店悲鳴

期限内から1日でも遅れる
と、協力金が満額支払われ
なかったというケースも
なりました。5回の申請期
間はそれぞれ①2020年
12月16日～21年1月29日②
21年1月14日～2月26日③
同2月8日～3月22日④同
3月8日～4月19日⑤詳細
は後日発表」となっていま
す。このうち、大幅に遅れ
ているのが②の期間に申請
されたもので、事業者から
は不満の声が上がっていま
す。

大阪府福島区で居酒屋を
経営する女性は「1月の半
ばに申請したのに、いまだ
に支給はありません。その
後、2度も申請しまし
たが、それもまだ、支給され
ていません」と嘆きます。
支給が遅れているため、小
口貸し付けの利用も考えて
います。「感染防止宣言ス
テッカーや時短に協力して
いるのに、支給が遅れてい
ることに不信感がありま



時短営業申請が続く飲み屋
街。21日、大阪市天王寺区

ママの姿も。飲食店が倒れ
れば、美容室にも大きな痛
手となります。客の多く
は、契約する美容予約サイ
トからの予約客です。予約
サイトに払う月々の費用が
負担として大きいのしかか
ります。

時短でも対象外

5回の協力金すべてが飲
食店を対象としていること
に疑問の声も出ています。
大阪市天王寺区でヘアサロ
ン「adyum(アデュ
ム)」を営む濱野将一さん
(48)は、コロナ禍で時短
営業を強いられているの
に、協力金の対象外となっ
ています。

「営業中にもコロナ対策
を行わなければならず、座
席は一つずつ間隔を空けて
の営業です」。ヘアサロン
利用者の7割から8割は女
性。カットが主たる需要で
すが、中には髪セットの
ために来店するスナックの
べきです」

濱野さんが今求めている
のは、大阪府・市の独自の
支援策です。「とにかく補
助金に対する府や市の意識
が低い。府や市は店を閉業
させるつもりなのかと思
う。飲食店以外の補償にも
力を入れて大々的に広報す
べきです」